



アドビ株式会社  
141-0032 品川区大崎 1-11-2  
ゲートシティ大崎イーストタワー

## アドビとマイクロソフト、 Microsoft Edge を通じて 14 億人の Windows ユーザーに 業界をリードする Adobe Acrobat の PDF エクスペリエンスを提供

- Microsoft Edge に Acrobat の PDF テクノロジーを組み込むことで、Windows ユーザーの PDF 利用体験を向上し、さらなる価値をシームレスに提供
- Microsoft Edge における Acrobat の PDF テクノロジーは、2023 年 3 月からすべての Windows 10 と 11 のユーザーに提供し、管理対象デバイスを持つ組織にはオプトインのオプションを提供予定
- アドビとマイクロソフトが、クラス最高峰のワークフローの現代化と統合を支援し、デジタルワークに変革をもたらすという共通の使命を実現

※当資料は、2023 年 2 月 8 日に米国本社から発表されたプレスリリースの抄訳です。

【2023 年 2 月 9 日】

アドビ (Nasdaq: ADBE) (本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ) とマイクロソフト (Nasdaq: MSFT) (以下マイクロソフト) は本日、Adobe Acrobat の PDF 機能を 14 億人以上の Microsoft Windows ユーザーの Microsoft Edge に提供することで、デジタルワークと生活の未来を変革するための次のステップに踏み出したことを発表しました。

両社は、Microsoft Edge に内蔵された PDF リーダーに Adobe Acrobat の PDF エンジンを搭載し、ユーザーが期待する PDF エクスペリエンスと価値を向上させます。これによって、より正確な色とグラフィックによる忠実度の向上、性能の改善、PDF の取り扱いに関する[強力なセキュリティ](#)、より優れた文字選択と音声読み上げを含むアクセシビリティの向上など、唯一無二の PDF エクスペリエンスを実現することが可能になります。これらの機能は、引き続き無償で提供されます。

マイクロソフトの Modern Work 担当コーポレートバイスプレジデントであるジャレッド スパタロウ (Jared Spataro) は次のように述べています。

「アドビとマイクロソフトが協力することは、生産性向上とお客様にとって良いことです。アドビの PDF 技術が Microsoft Edge に搭載されることで、ユーザーは重要なデジタル文書機能に迅速かつ安全にアクセスできるようになります。」

アドビのシニア バイス プレジデント兼ジェネラル マネージャーであるアシュレイ スティル (Ashley Still) は次のように述べています。

「PDF は自動化とコラボレーションがかつてないほど重要になった世界において、生産性を加速させる、現代のビジネスに不可欠なものです。アドビとマイクロソフトは、世界標準の PDF エクスペリエンスを Microsoft Edge と全世界の 10 億人を超える Windows ユーザーに提供することで、生産性における両社の伝統と専門性を活かし、現代的で安全、そしてつながりのある仕事と生活を実現するための重要な一歩を踏み出しました。」

文字や画像の編集、PDF の他のファイル形式への変換、ファイルの結合など、より高度なデジタル文書機能を求めるユーザーは、Adobe Acrobat のサブスクリプション版を購入することで、ブラウザの拡張機能により Microsoft Edge から直接これらの機能を利用することも可能です。すでに Adobe Acrobat のサブスクリプション版を利用している Microsoft Edge ユーザーは、追加料金なしで Edge 内で Acrobat 拡張機能を使用することができます。

デジタル変革の時代において、web ブラウザは、人々がコラボレーションを行い、情報を共有し、クラウド上で仕事を成し遂げる場所となっています。世界中のユーザーが、web、モバイル、デスクトップ上で何兆もの PDF ファイルを操作しています。Microsoft Edge の PDF エクスペリエンスを支える Adobe Acrobat の機能により、Windows 10 および Windows 11 ユーザーは、改めてアプリケーションをダウンロードしたり切り替えたりすることなく、Microsoft Edge の web ブラウザでアドビが誇る最高水準の PDF 機能を使用することができます。

## 段階的展開

管理対象デバイスを持つ組織のニーズに対応するため、Adobe Acrobat PDF レンダリングエンジン機能を搭載した Microsoft Edge 内蔵の PDF リーダーへの移行は段階的に行われ、管理対象デバイスには最初にオプトインのオプションが設定されます。レガシーエンジンを搭載した Microsoft Edge の PDF ソリューションは、2024 年 3 月に廃止を予定しています。詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。

今回の発表は、アドビが業界をリードする PDF、電子署名、文書自動化ツールをマイクロソフトのユーザーに直接提供することで、デジタルワークと生活を変革する アドビとマイクロソフトの継続的なイニシアチブの一環です。Microsoft 365、Microsoft Teams、SharePoint など、マイクロソフトの各ソリューションにおけるアドビの PDF と電子署名の統合はすでに包括的に行われていますが、Microsoft Edge におけるこの PDF エクスペリエンスは、それに続くものです。これは、人々がデジタルワークと生活において、継続的な革新、効率性、生産性をもたらすという、我々の共通の旅路における新たな一歩です。

## ■「アドビ」について

アドビは、「世界を動かすデジタル体験を」をミッションとして、3つのクラウドソリューションで、優れた顧客体験を提供できるよう企業・個人のお客様を支援しています。[Creative Cloud](#)は、写真、デザイン、ビデオ、web、UXなどのための20以上のデスクトップアプリやモバイルアプリ、サービスを提供しています。[Document Cloud](#)では、デジタル文書の作成、編集、共有、スキャン、署名が簡単にでき、デバイスに関わらず文書のやり取りと共同作業が安全に行えます。[Experience Cloud](#)は、コンテンツ管理、パーソナライゼーション、データ分析、コマースに対し、顧客ロイヤルティおよび企業の長期的な成功を推進する優れた顧客体験の提供を支援しています。これら製品、サービスの多くで、アドビの人工知能（AI）と機械学習のプラットフォームである[Adobe Sensei](#)を活用しています。

アドビ株式会社は米 Adobe Inc.の日本法人です。日本市場においては、人々の創造性を解放するデジタルトランスフォーメーションを推進するため、「心、おどる、デジタル」というビジョンのもと、心にひびく、社会がつながる、幸せなデジタル社会の実現を目指します。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html>) をご覧ください。

###

© 2023 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.